

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社JCLバイオアッセイ 上場取引所 大
 コード番号 2190 URL <http://www.jclbio.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 靱山 邦男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名) 田中 雅樹 (TEL) 06(4863)5020
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	275	△31.8	△195	—	△224	—	△173	—
23年3月期第1四半期	403	12.9	4	—	△101	—	△112	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △184百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △148百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△52.38	—
23年3月期第1四半期	△34.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,964	802	20.3
23年3月期	3,866	1,004	26.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 802百万円 23年3月期 1,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	920	△8.2	△274	—	△292	—	△302	—	△91.36
通期	2,397	12.7	△222	—	△257	—	△346	—	△104.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	3,306,000株	23年3月期	3,306,000株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	240株	23年3月期	240株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	3,305,760株	23年3月期1Q	3,305,860株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 追加情報	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループがサービスを提供する医薬品業界においては、主力医薬品の特許切れが相次ぎ、早期の新薬開発が重要となっておりますが、世界的な新薬承認審査の厳格化等の影響により新薬開発は困難化しております。また、世界医薬品市場における日本市場の相対的縮小傾向が長期化し、国際競争力の強化が重要となっており、製薬会社にとっては厳しい事業環境が続いております。このような事業環境の中、製薬会社は、医薬品開発において一層の効率化とスピードアップが必要となっており、医薬品開発を支援するCRO（医薬品開発受託研究機関）の重要性はますます高まっております。

このような状況下で当社グループは、主力事業のバイオアナリシスにおいて、日本と米国に研究所を有するというグループシナジーを活用した営業活動を開始し、事業計画の達成に努めました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高275,058千円（前年同期比31.8%減）、営業損失195,598千円（前年同期は営業利益4,966千円）、経常損失224,442千円（前年同期は経常損失101,487千円）、四半期純損失173,171千円（前年同期は四半期純損失112,578千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループのセグメント別業績は次のとおりであります。

・日本

日本においては、営業人員を増員するとともに、新たな営業拠点として横浜オフィス（神奈川県横浜市）を開設し、営業力強化を図っております。その結果、受注は想定通りに獲得できましたが、当第1四半期累計期間に終了した試験が少なく、売上高は275,058千円（前年同期比31.8%減）、営業損失125,464千円（前年同期は営業利益4,966千円）となりました。

このうちバイオアナリシスにおいては、試験の一部について早期終了できたものもありましたが、終了時期が延期になったものが多くあり、売上高は170,812千円（前年同期比50.0%減）となりました。一方、医薬品品質安定性試験においては、一部の試験において終了時期が延期となったものもありましたが、当第1四半期累計期間に終了予定の試験が多くあったことから、売上高は104,246千円（前年同期比69.1%増）となりました。

・米国

米国においては、先行投資として試験設備の拡充、研究員のトレーニングに注力するとともに、積極的な営業活動を展開しております。その結果、受注は順調に獲得できましたが、当第1四半期累計期間に終了した試験がなかったことから、売上高はありません。なお、米国ラボが稼働していることから、売上原価、販売費及び一般管理費が発生しており、営業損失70,432千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ97,939千円増加して3,964,500千円となりました。これは主に、現金預金の減少122,111千円、売掛金の減少98,692千円、建設仮勘定の増加164,149千円、仕掛品の増加111,984千円、及び繰延税金資産の増加48,687千円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ299,128千円増加して3,161,596千円となりました。これは主に、長期借入金の増加266,067千円、前受金の増加82,437千円、買掛金の増加44,607千円、及び未払法人税等の減少98,753千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ201,189千円減少して802,903千円となりました。これは主に、当第1四半期累計期間の四半期純損失173,171千円の計上、及び配当金の支払16,528千円によるものであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	847,394	725,282
売掛金	261,776	163,084
仕掛品	308,781	420,765
原材料及び貯蔵品	46,746	45,825
その他	106,135	206,089
貸倒引当金	△1,426	△800
流動資産合計	1,569,407	1,560,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,004,166	975,303
土地	461,909	456,468
その他(純額)	707,296	841,675
有形固定資産合計	2,173,373	2,273,447
無形固定資産	16,640	20,113
投資その他の資産	99,376	103,271
固定資産合計	2,289,390	2,396,832
繰延資産	7,763	7,420
資産合計	3,866,561	3,964,500
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,977	82,584
短期借入金	630,000	630,000
1年内償還予定の社債	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	132,398	132,398
未払法人税等	99,437	684
賞与引当金	96,403	49,750
受注損失引当金	43,916	64,612
その他	268,731	394,072
流動負債合計	1,308,865	1,404,103
固定負債		
社債	500,000	450,000
長期借入金	634,571	900,638
退職給付引当金	120,085	125,858
役員退職慰労引当金	29,720	31,479
資産除去債務	13,934	14,001
その他	255,291	235,516
固定負債合計	1,553,603	1,757,493
負債合計	2,862,468	3,161,596

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,356	256,356
資本剰余金	271,455	271,455
利益剰余金	576,466	386,766
自己株式	△162	△162
株主資本合計	1,104,115	914,415
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△100,022	△111,511
その他の包括利益累計額合計	△100,022	△111,511
純資産合計	1,004,093	802,903
負債純資産合計	3,866,561	3,964,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	403,098	275,058
売上原価	265,936	320,287
売上総利益又は売上総損失(△)	137,162	△45,228
販売費及び一般管理費		
役員報酬	20,400	18,900
給料及び手当	27,912	39,091
法定福利費	6,289	6,103
賞与引当金繰入額	8,253	8,015
退職給付費用	2,362	2,229
役員退職慰労引当金繰入額	1,553	1,759
旅費及び交通費	2,309	4,250
保険料	2,687	3,874
支払手数料	12,834	14,975
減価償却費	1,001	3,513
研究開発費	22,045	18,849
その他	24,545	28,808
販売費及び一般管理費合計	132,195	150,370
営業利益又は営業損失(△)	4,966	△195,598
営業外収益		
受取利息	1	—
受取配当金	2	—
保険解約返戻金	338	—
受取手数料	3,049	—
助成金収入	—	400
その他	147	1,390
営業外収益合計	3,537	1,790
営業外費用		
支払利息	6,520	6,792
社債利息	1,558	1,403
社債発行費償却	342	342
為替差損	17,543	22,096
開業費償却	84,026	—
営業外費用合計	109,991	30,634
経常損失(△)	△101,487	△224,442
特別利益		
貸倒引当金戻入額	988	—
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	988	1

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
特別損失		
固定資産除却損	—	48
固定資産売却損	11	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,595	—
特別損失合計	9,607	48
税金等調整前四半期純損失(△)	△110,106	△224,489
法人税、住民税及び事業税	288	312
法人税等調整額	2,183	△51,630
法人税等合計	2,472	△51,317
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△112,578	△173,171
四半期純損失(△)	△112,578	△173,171

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△112,578	△173,171
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△35,992	△11,488
その他の包括利益合計	△35,992	△11,488
四半期包括利益	△148,571	△184,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148,571	△184,660
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	403,098	—	403,098	403,098
計	403,098	—	403,098	403,098
セグメント利益	4,966	—	4,966	4,966

(注) 米国については、開業準備中でありますので、売上高及びセグメント利益はありません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	275,058	—	275,058	—	275,058
計	275,058	—	275,058	—	275,058
セグメント損失 (△)	△125,464	△70,432	△195,896	297	△195,598

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△195,896
セグメント間取引消去	297
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△195,598

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループがサービスを提供する医薬品業界の急速な経営環境の変化に、これまで以上に機動的に対応できる仕組みの構築などから、当第1四半期連結会計期間より経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となる報告セグメントを見直し、「バイオアナリシス(西脇ラボ)」、「バイオアナリシス(大阪ラボ)」、「バイオアナリシス(米国ラボ)」及び「医薬品品質安定性試験」から「日本」、「米国」に変更しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。